

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学病院医療環境整備事業	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	事業開始年度:平成21年度 事業終了年度:平成22年度	担当課室	医学教育課大学病院支援室	大学病院支援室長 玉上 晃				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅳ-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	大学病院の周産期医療体制整備計画 (平成20年12月5日文部科学大臣発表)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	現在、社会問題となっている医師不足等により妊婦受入れ問題が生じるなど、周産期医療体制の構築が喫緊の課題となっている。そのため、地域医療の「最後の砦」である大学病院の病床整備など、受け入れ体制を強化することにより、妊婦や子供の命を守る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	大学病院において、次の①～②の事業を実施する。(補助金補助率:定額補助) ①院内助産所等整備事業 大学病院内に助産師外来や助産所を作り、助産師の養成環境を整えるとともに、助産師による妊婦検診や保健指導等、正常分娩をきめこまかく行う。これにより、産科医の負担軽減を図るとともに、出産への不安を抱える妊婦に対して時間をかけてより丁寧な診療の対応ができる。 ②NICU等設置事業 大学病院の受入れ体制を充実するとともに、医師等の養成を強化するため、ハイリスクな出産に対応する「母体胎児集中治療室(MFICU)」や未熟児等の治療を行う「新生児集中治療室(NICU)」に、特殊なベッド(分娩台、保育器)や高度な医療機器(人工呼吸装置、検査装置など)を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	1,104	91	—	—	
		補正予算	—	4,415	499	—		
		繰越し等	—	-1,467	968	499		
		計	—	4,051	1,558	499	—	
	執行額		—	4,413 ※1	1,580 ※1			
	執行率(%)		—	108.9%	101.4%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	院内助産所等を開設する大学数	成果実績	大学	—	7	4	—	
		達成度	%	—	100	100		
	国立大学病院へのNICUの設置	成果実績	大学	—	5	2	1	
		達成度	%	—	100	100		
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度
プログラム実施数		活動実績 (当初見込 み)	件	—	40	11		
					(11)	(3)		
単位当たり コスト	144(百万円/1大学)		算出根拠	単位当たりコスト =22年度執行額(1,580百万円)/プログラム実施数(11件)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、院内助産所等の開設や助産師の養成環境整備が促進された。また、大学病院にNICU等を整備することで、地域の周産期医療の充実に大きく貢献している。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・なお、NICUの整備等が目標を達成するなど、概ね本事業の目的を果たしているため、平成22年度で本事業を廃止し、平成23年度当初予算は計上していない。（ただし、平成23年度への繰越し分に限り、引き続き実施する。）		
予算監視・効率化チームの所見			
-		本事業は、NICUの整備等の目的が達成するなど、所期の目標を達成したことから平成22年度をもって廃止している。なお、平成22年度補正予算に計上した予算の全額を繰り越しており、補正予算の趣旨に鑑み、早期執行に努めるべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
翌年度に繰り越した経費については、平成23年度当初から補助事業を執行できるように手続きを行っている。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※1 重点的な支援の観点から、年度内に同一補助金内で流用増して執行。 ◆院内助産所等整備事業 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/shuusanki/1266344.htm ◆②NICU等設置事業 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/shuusanki/1266325.htm			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
1,580百万円

諸謝金 0.2百万円
庁費 0.1百万円 } を含む

対象大学から申請のあった事業内容を
審査の上、支援対象とする取組を選定し、
補助金を交付する。

【公募・補助】

院内助産所等整備事業
A. 大学(全4件)
112百万円

大学病院内に助産師外来や助産
所を作り、助産師による妊婦検診
や保健指導、正常分娩を行うととも
に、助産師の人材養成を行う。

【公募・補助】

NICU等設置事業
B. 大学(全7件)
1,467百万円

NICU等を整備し、ハイリスク
分娩や未熟児等の治療を行う。

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.宮崎大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	設備備品費	分娩台、保育器、新生児ベッド、超音波診断装置、新生児蘇生シミュレータ	39			
	計		39	計		0
	B.山梨大学			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	設備備品費	新生児ベッド、黄疸光線治療器、新生児無呼吸モニター、温乳器等	449			
	計		449	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.院内助産所等整備事業

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮崎大学	宮崎大学 周産期対策のための医療環境の整備(院内助産等の設置)	39	—	—
2	自治医科大学	自治医科大学 周産期対策のための医療環境の整備(院内助産等の設置)	26	—	—
3	東北大学	東北大学 周産期対策のための医療環境の整備(院内助産等の設置)	24	—	—
4	川崎医科大学	川崎医科大学 周産期対策のための医療環境の整備(院内助産等の設置)	23	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.NICU等設置事業

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山梨大学	山梨大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	449	—	—
2	岐阜大学	岐阜大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	444	—	—
3	広島大学	広島大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	193	—	—
4	熊本大学	熊本大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	159	—	—
5	島根大学	島根大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	117	—	—
6	秋田大学	秋田大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	60	—	—
7	岡山大学	岡山大学 周産期医療環境整備事業(NICU等設置)	47	—	—
8					
9					
10					

※四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。